

令和6年度 学校評価計画（教育指導の重点）

小田原市立（国府津小）学校

項目	共通項目 (教育指導の重点より)	学校における取組	
		学校の実践目標	具体的方策
「学ぶ力」	日々の学習指導や学習評価において、子ども一人ひとりを適切に見取り、伸ばす評価（点から線の評価）を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業づくりと豊かな学び合いによる思考活動の充実により、主体的に学びに向かう力と課題解決力を育む。 基礎的・基本的な知識・技能の着実な定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の変容の見取りを多面的に行い、児童相互の学び合いの中に位置付けることにより、深い学びへとつながるような実践を行うとともに、校内研究を通して、その検証を図る。 個別指導、個別支援の場を取り入れ、個の実態に応じた指導・支援を行う。
「豊かな心」	教育活動全体を通じて、生命の尊さや人権を尊重する態度の育成を目指した、人権教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 自他の良さを認め、他人の気持ちを考えて思いやりをもって接することができる心を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 代表委員会等を通して、児童自ら、月の生活目標を設定し、生命尊重や人権尊重を意識し続けられるような環境をつくる。 インクルーシブ朝会や人権朝会を実施し、全校の共通理解のもと、人権意識の啓発を図る。 たてわり班を活用し、異学年交流を通して思いやりの心を育む。
「健やかな体」	防災・防犯・交通安全・熱中症防止・感染症対策など、常に子どもの命と安全を最優先に考えます。	<ul style="list-style-type: none"> 「自分の命は自分で守る」を意識できるような指導を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションでの防災訓練や防犯訓練、交通安全教室を実施し、自分の頭で考え、行動できるような児童を育てる。 防災研修、防犯研修、アレルギー対応研修の充実を図り、教職員の安全意識を高める。
「関わる力」	小田原の豊かな自然や産業、伝統文化に関心を持ち、社会に主体的に参画しようとする態度の育成を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 地域に学び、地域に貢献しようとする児童を育てる。 地域学習の充実を図り、地域人材の活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会科・生活科・総合的な学習の時間における地域学習の充実を図るため、地域素材の教材化を意識して、これまでの単元の見直しを行う。 スクールボランティアの活用を図るとともに、児童と地域の方との関わりの場を充実させる。
その他	※必要に応じて追記してください。		

令和6年度 学校評価報告（教育指導の重点）

小田原市立（ 国府津小 ） 学校

項目	共通項目 (教育指導の重点より)	評 価	改 善 策
「学ぶ力」	日々の学習指導や学習評価において、子ども一人ひとりを適切に見取り、伸ばす評価（点から線の評価）を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究では、児童の見取り方を共有することで、指導と評価の一体化を試みた。児童の姿をもとに協議を行うことで、「学び合いを通して思考が深まったと言えるか」ということについて検証できるようになってきている。 個別指導、個別支援の場を年度当初より組織的に取り入れることを試みたが、人的配置に限界があり、十分とは言えなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、「主体的・対話的で深い学び」の「主体的」とは、「対話的」とは、「深い学び」とは、それぞれどのような学びを指しているのか共通理解を図りつつ、どのような手立てをとることで児童の変容を見取ることができるのかを校内研究で追究する。 限られた人的配置の中で、個別指導、個別支援に対応できるようなシステムの改善を図る。
「豊かな心」	教育活動全体を通じて、生命の尊さや人権を尊重する態度の育成を目指した、人権教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 代表委員会を通して、児童自ら、月の生活目標を設定し、その成果等を全校放送等で報告する場を設けることができた。 インクルーシブ朝会や人権朝会を実施し、人権意識の啓発を図った。 毎月のたてわり班遊びや、たてわり班を中心とした児童会行事を通して、異学年間の思いやりの心を育むことができた。 児童相互のやり取りの中で相手の心を傷つけてしまうような言動も見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、代表委員会等を通して、児童自ら、月の生活目標を設定するようにし、主体的に取り組めるようにしていく。また、次年度もインクルーシブ朝会や人権朝会を開催するとともに、日常的に「相手の気持ちを想像したうえでの考えた言動」を意識させられるような児童指導の在り方について、共通理解を図る。 たてわり班活動については、継続しつつ、充実したものへと発展させていく。
「健やかな体」	防災・防犯・交通安全・熱中症防止・感染症対策など、常に子どもの命と安全を最優先に考えます。	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションでの防災訓練や防犯訓練、交通安全教室を実施することができた。予告なしの避難訓練や実際の地震発生時の様子から、自分の頭で考え、行動できるような児童が育っている。 防災研修、防犯研修、アレルギー対応研修を実施することで、教職員の安全意識を高めることができた。 児童も WBGT の値から休み時間等の対応を考えることができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、様々なシチュエーションでの防災訓練や防犯訓練（防犯教室）、交通安全教室を実施し、自分の頭で考え、行動できるような児童を育てる。 防災研修、防犯研修、アレルギー対応研修等も継続し、教職員の安全意識を高める。
「関わる力」	小田原の豊かな自然や産業、伝統文化に関心を持ち、社会に主体的に参画しようとする態度の育成を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 社会科・生活科・総合的な学習の時間において、地域素材を扱い、地域に出向き、地域の方と交流する活動が増えている。 1年生の昔遊び、2年生の町探検、3年生の小田原市の特徴、4年生の地域防災、5年生の米作り、6年生の市議会見学などをはじめ、児童と地域の方の関わりが多く設定された。5・6年生の地域防災訓練、6年生のフラワーロード事業では地域に貢献する姿も見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域素材の教材化について、担任が変わっても実践できるように、大まかな単元の流れも明示できるようにするとともに、地域の協力者リストを作成していく。 スクールボランティア、特に学習ボランティア活用の可能性を探る。
その他	※必要に応じて追記してください。		